

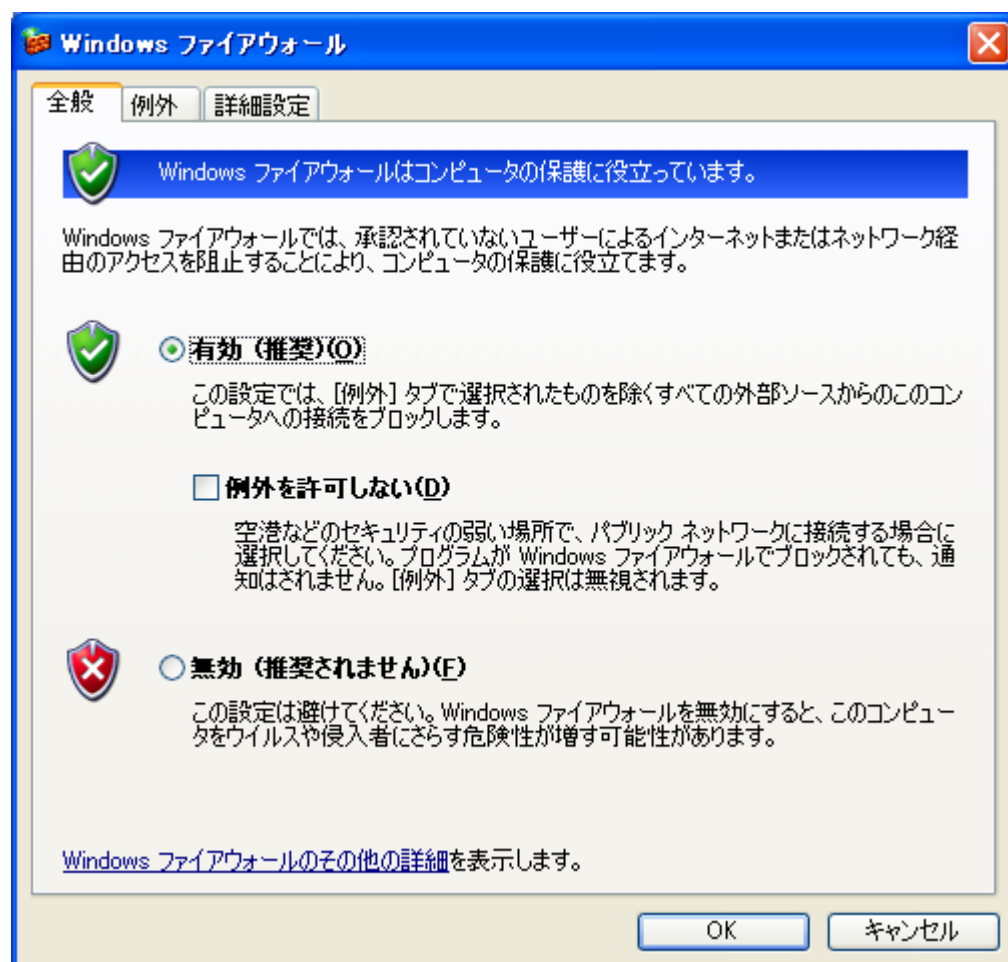
Windows ファイアウォールの例外設定手順

PrintPort for ACOS-4 をご使用される場合、Windows ファイアウォールの機能を有効にしていると、外部からの TCP/IP 通信がブロックされ、PrintPort の一部機能(ホストからのデータ受信、リモート監視機能、LPR 印刷)が使用できなくなります。

以下の手順により、Windows ファイアウォール機能の例外に PrintPort ソフトウェアを登録することにより、PrintPort の機能が使用できるようになりますので、お手数ですが、下記の設定をしていただけますようお願い致します。

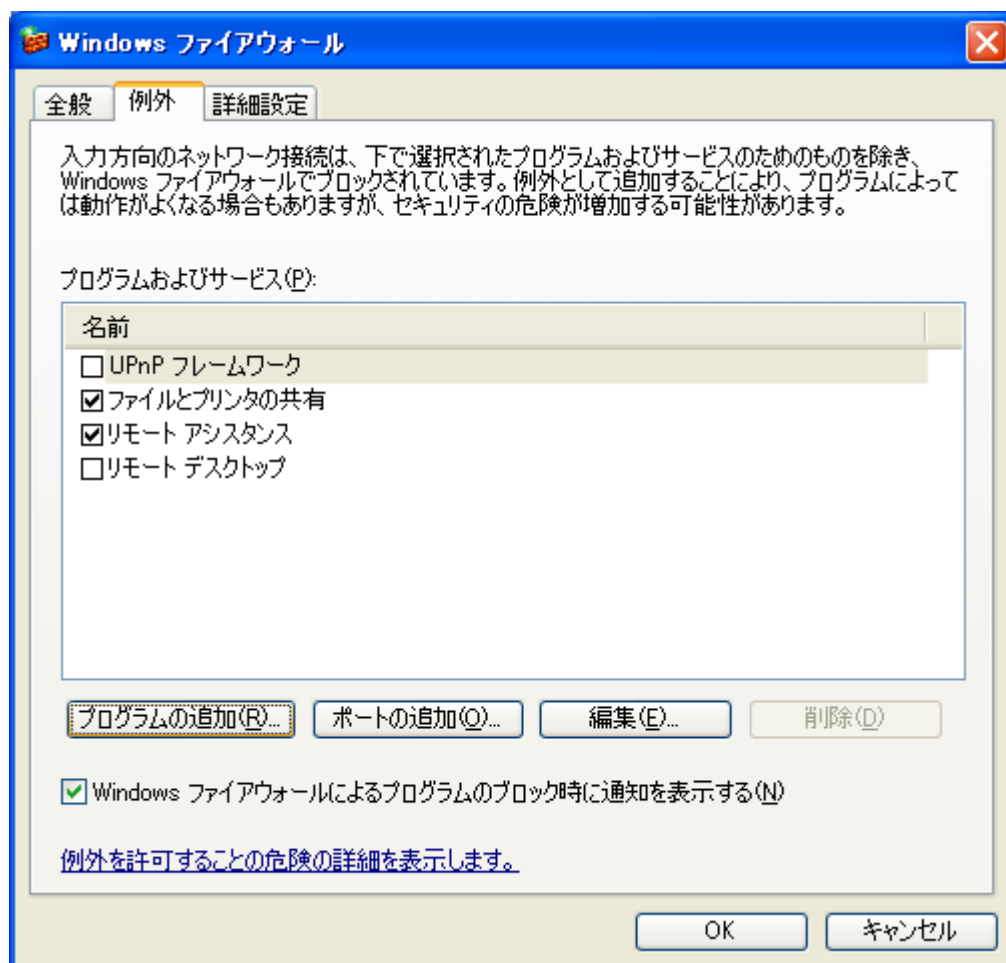
設定手順

コントロールパネルより「Windows ファイアウォール」を起動します。
(Windows の画面設定によっては、コントロールパネル 「セキュリティセンター」 「Windows ファイアウォール」と選択します)

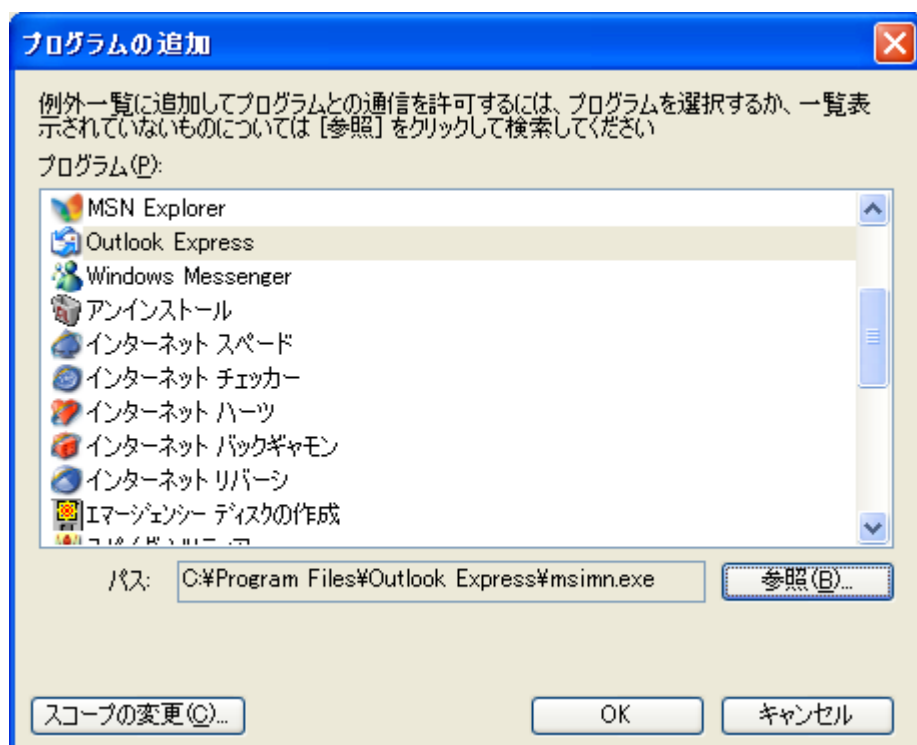


例外タブをクリックしてください。

「Windows ファイアウォール」の例外に追加するプログラムを選択します。
PrintPort を例外に追加するため、[プログラムの追加(R)]をクリックしてください。

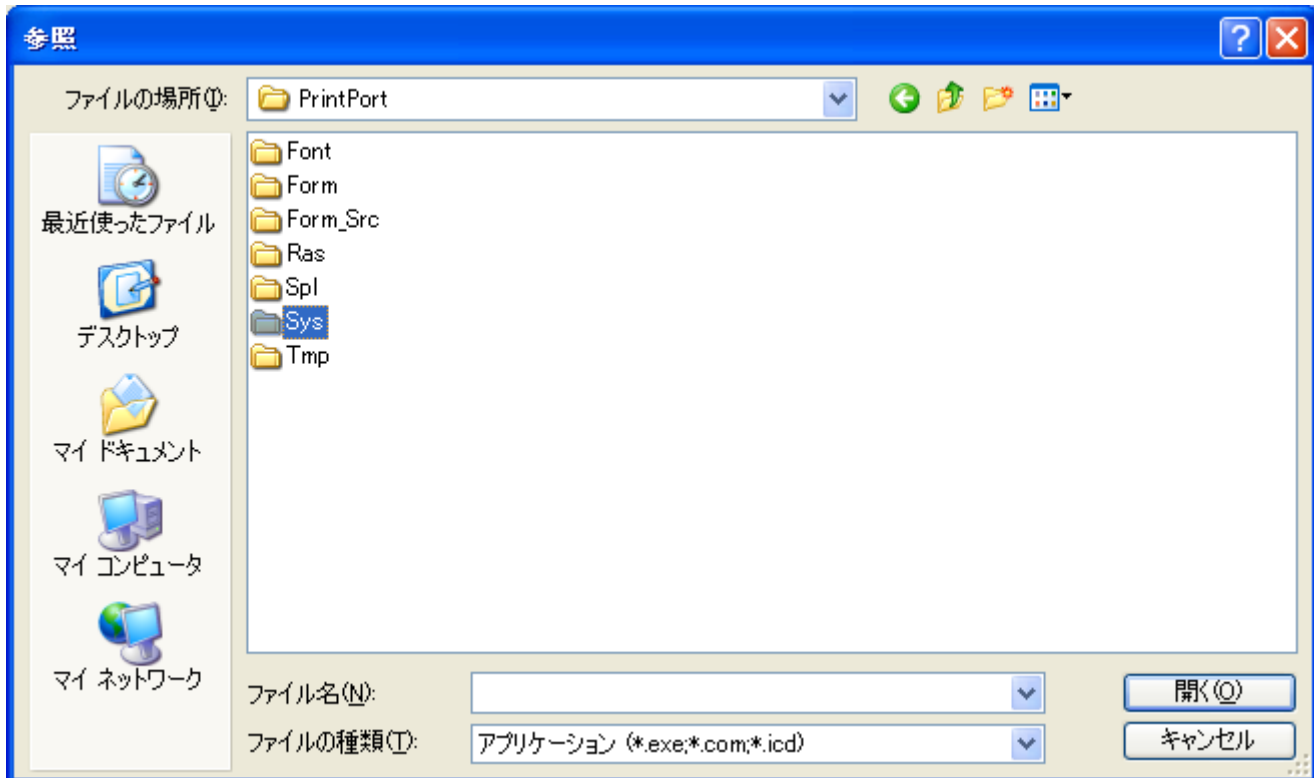


以下の画面が表示されますので、[参照]をクリックしてください。



例外に追加する PrintPort プログラムを選択します。

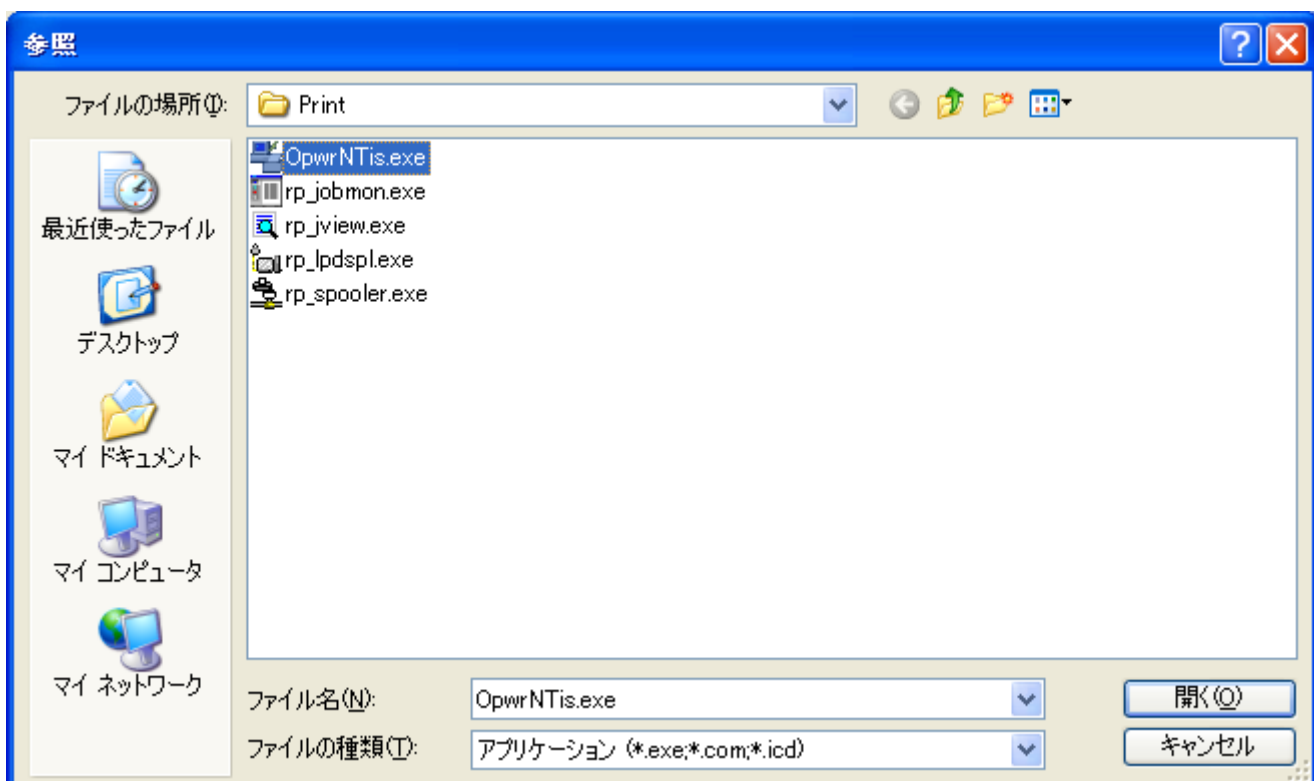
[PrintPort のインストールフォルダ]¥PrintPort¥Sys¥Print¥のフォルダを選択します。



PrintPort for ACOS-4 の場合、以下のファイルが表示されます。

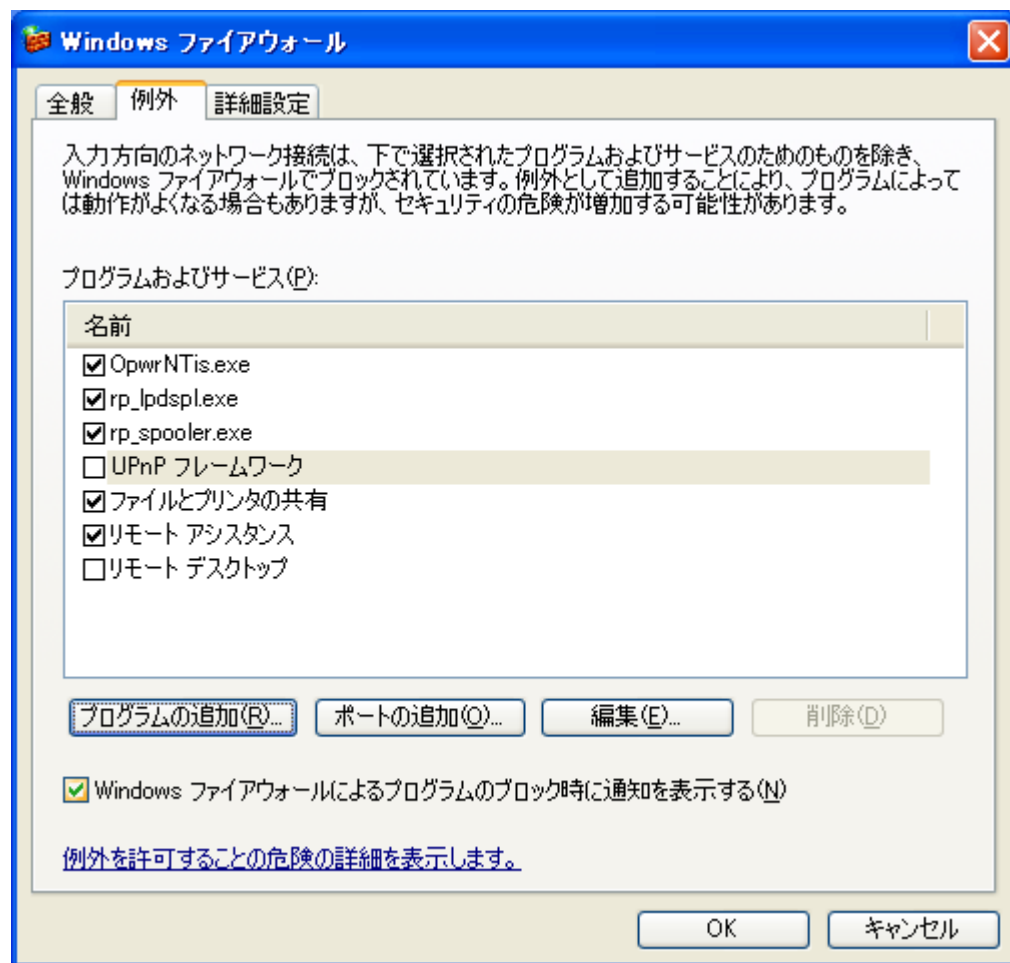
「OpwrNTis.exe」(64bit 版 OS の場合は「OpwrNTis64.exe」)を選択し、[開く]をクリックし、
「プログラムの追加」で[OK]をクリックします。

同様の手順で、「rp_lpdsp.exe」「rp_spooler.exe」(64bit 版 OS の場合は「rp_lpdsp64.exe」「rp_spooler64.exe」)
を例外に登録します。



3つともプログラムが例外に登録されれば、[OK]をクリックし、「Windows ファイアウォール」画面を閉じてください。

PrintPort for ACOS-4 の場合



以上で設定は終了です。